

(様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全社会資本整備交付金)

平成 30年1月17日

計画の名称	一戸町「水のきれいなまちづくり(第3次)」(防災・安全)			重点配分対象の該当	-
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)	交付対象	一戸町		
計画の目標	下水道ストックを適正に管理するため維持管理・改築(修繕)計画を策定し、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。				

計画の成果目標 (定量的指標)	①一戸処理区のストックマネジメント計画策定に伴い点検・調査率を0%(H30当初)から100%(H31末)に増加させる。 ②一戸処理区の処理場における長寿命化対策済率を0%(H30当初)から21%(H34末)に増加させる。				
-----------------	---	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現状値及び目標値			備考								
	当初現状値	中間目標値	最終目標値	上段:分子 下段:分母								
	(H30当初)	(H32末)	(H34末)	(H30当初)	(H32末)	(H34末)						
①一戸処理区のストック点検・調査率 点検・調査済面積(ha)/全体計画面積(ha)	0%	100%	100%	0ha	283ha	283ha						
②一戸処理区の処理場における長寿命化対策済率 改築(修繕)済施設数(箇所)/要改築(修繕)施設総数(箇所)	0%	4%	21%	0箇所	1箇所	5箇所						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	183百万円	A	183百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0%

交付対象事業																					
A 下水道事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工程	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考		
											H30	H31	H32	H33	H34						
一戸処理区													合計					183			
A-1-1	下水道	一般	一戸町	直接	一戸町	全種	改築	ストックマネジメント計画	調査・計画策定	一戸町						8	-	-			
A-1-2	下水道	一般	一戸町	直接	一戸町	処理場	改築	一戸町終末処理場(水質保全)	水処理施設	一戸町						128	-	策定中	ストックマネジメント		
A-1-3	下水道	一般	一戸町	直接	一戸町	処理場	改築	一戸町終末処理場(資源循環形成)	汚泥施設	一戸町						47	-	策定中	ストックマネジメント		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工程	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	備考
										H30	H31	H32	H33	H34			

C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工程	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考			
										H30	H31	H32	H33	H34					
番号   一体的に実施することにより期待される効果													合計						

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工程	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H30	H31	H32	H33	H34		

交付金の執行状況 (単位:百万円)

	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
配分額 (a)	4,000	1,65	11,080	0,000	
計画別流用増△減額 (b)	△1,689	△0,165	0,000	0,000	
交付額 (c=a+b)	2,311	1,485	11,080	0,000	
前年度からの繰越額 (d)	0,000	0,000	0,000	7,963	
支払済額 (e)	2,311	1,485	3,117	2,900	
翌年度繰越額 (f)	0,000	0,000	7,963	0,000	
うち未契約繰越額 (g)	0,000	0,000	7,963	0,000	
不用額 (h = c+d-e-f)	0,000	0,000	0,000	5,063	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	71.9%	63.6%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由			次年度への繰越のため。	年度内での確実な履行を目指すために、設計内容を見直したことになる。	